

保原中央 自治振興会だより

第 9 号

2.9.24 発行

発行責任者
会長 佐藤貞夫



あいさつ
会長 佐藤貞夫

令和二年度を迎えて

例年になく雨の多い梅雨が明けたと思いきや、今度は天が狂ったかのような猛暑が続き、熱中症に厳重警戒の中、新型コロナウイルスの感染は全国的に拡大し、未だ収束の見通しも立たない状況の中の今年度となりました。

本来ならば総会を開催すべきところですが、代議員各位より書面表決書を提出していただき、全ての議案について過半数の承認をもって可決されました事をこの報告いたします。

孰れにしても、当面はコロナ禍の動向を見乍らの活動と成ります。

感染防止のため「新しい生活様式」が求められ、当り前だった日常生活を奪われ、何かと不自由な生活を余儀なくされておりますが、私達は一日も早い収束を願うと共に、我が地域に笑顔と元気を取り戻す為、今出来る事は何なのかを模索しながら、乍ら代議員の皆様と一丸となって知恵を出し合い、取り組んで参ります。

各部のスローガン

総務企画部

地域の魅力が輝くまちづくり

健康福祉部

健康福添う

健康福添う

地域づくり部

ともに紡ぐ協働のまちづくり

環境防災部

自然と調和し快適で

住みよいまちづくり

社会教育部

豊かな心を育むまちづくり

本年度事業計画

各種会議開催

総会、三役会、役員会、専門部会

今後の主な行事

- 9月26日(土) 大人の料理「そば打ち」
- 10月3日(土) 笑いヨガ
- 4・5日(日月) 秋田駒岳トレッキング
グと乳頭温泉郷の旅
- 8日(木) 歌声喫茶②
- 9日(金) 学童保育花ポット移植
- 17日(土) 連鶴折り紙教室
- 24日(土) 大人の料理「茶の料理」
- 31日(土) 普通救命講習会
- 11月3日(火) 地域探訪
- 7日(土) 笑いヨガ
- 12月7日(木) 歌声喫茶③
- 21日(土) 大人の料理「会津そば打」
- 12月5日(土) 大人の料理「ぬか漬け」

本年度予算

〈収入総額〉	10,447 千円
・交付金・会費・繰越金等	
〈支出総額〉	10,447 千円
・報酬	5,701 千円
・旅費	540 千円
・消耗品費	1,107 千円
・食糧費	836 千円
・印刷製本費	370 千円
・通信費	420 千円
・使用料及び賃借料	1,195 千円
・その他	278 千円

3月11日(木)	19日(金)	14日(木)	11日(日)	7日(日)	17日(日)	15日(土)	14日(金)	13日(木)	10日(水)	9日(水)	
歌声喫茶⑦	視察・防災講座受講	県危機管理センター スキー教室	歌声喫茶⑥	大人の料理「手作り餃子」	笑いヨガ	団子さし	歌声喫茶⑤	みんなの健康・介護教室	門松づくり	歌声喫茶④	学童保育花ポット移植

本年度役員組織(敬称略)

会長	佐藤貞夫
副会長	高野順子
副会長	浦山昌彦
会計	佐藤信雄
監査	大橋利三
監査	熊田彌六
幹事長	齋藤徹雄
幹事	浅野嘉尚
事務局長	佐瀬之人
事務局	片平和子

総務企画部会	
部会長	大石洋介
商工青	水口泉太郎
青少年	齋藤徹雄
会長推	浅野嘉尚
会長推	森川尋子
会長推	齋藤一司
桃中P	菅野幸子

健康福祉部会	
部会長	浦山昌彦
民生児	山田健一
会長推	菊田保
寿会上	中山克子
保小P	菊池研
寿会下	桃井次夫
婦人会	高野和子

地域づくり部会	
部会長	小川新
町内会	佐藤貞夫
町内会	佐藤信雄
町内会	佐藤吉治
婦人会	高野順子
商工女	滝澤茂子
会長推	馬場裕隆

環境防災部会	
部会長	菅野照美
交通安	熊田彌六
防犯協	大橋悦夫
文連協	島田久也
J A 女	大橋宏子
町内会	大橋利三
会長推	黒須秀一

社会教育部会	
部会長	大河内邦夫
町内会	本多洋
文連協	山田茂
H S C	川崎理恵子
保小P	滝澤由希
会長推	佐藤英一
会長推	高野秀子

顧問 菊地邦夫、大條一郎、佐藤実、近藤真一、佐藤直毅

活動報告〜8月

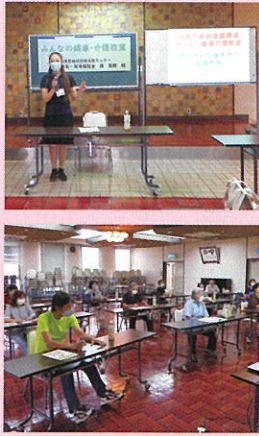
土嚮つくり 7月11日(土)

環境防災部会主催。市消防団保原支団の協力を得て、簡単に作れる土嚮制作体験会を開催しました。入れる土の量、袋の縛り方、壊れにくい積み方等を研修。「防災時に役立たい。今後も防災関係講習会希望。」の意見がありました。



介護講座 7月12日(日)

将来に備え、「介護予防や認知症の知識習得」のテーマで、講師に包括支援センター所長の森美樹様を迎え交流館で開催しました。参加された12名の方々は、解り易くよく理解でき大変参考になったという感想が多く聞かれました。



料理教室 7月19日(日)

横山ハリス千絵先生とデリナさんを講師に、「ピザ&パスタ教室」を交流館で開催。コロナ感染予防のため、アルコール消毒、マスク・手袋を着用し調理しました。エビ、アボカド、トマトの冷凍パスタ。ベーコン、トマトとバジルソースのピザ。ピザは生地を空焼きし自宅で食べてもらいました



歌声喫茶 8月6日(木)

ようやく一回目を開催(30名)。再開を喜びあい、講師の千本松四郎さんのアコーディオン伴奏で、前半は古関裕而特集、後半はリクエストで楽しく歌いました。コロナ予防のためフェースシールドの着用、体温測定、2M離れての着席で行いました。



保原の方言 その8

島田 久也

きんによのぼんかだ、孫の和ぼーが言っただげんちよない。ばーちゃん、コロナつう病気が流行って、人がいつペー死んだって、新聞やテレビで毎日報道されてんだぞい。わがつかい？ おれでもニュースぐれえ見でつつおい。んだげんちよ、コロナやパンデミックという横文字の言葉はさっぱりわがんね。ジイ様の話だど、百年めえスペイン風邪が流行り、人がいつペーおっちゃんだで、ざらんぼがあつたど。おつかね病気だない。コロナもはえぐ終わつといいない。

標準語

昨日の夕方、孫の和ちゃんが言っただことですが。ばーちゃん、コロナという病気が流行って、人がたくさん死んだって、新聞やテレビで毎日報道されてんだよ。知ってる？ おれでもニュースぐらい見てるよ。そうは言うものの、コロナやパンデミックという横文字の言葉はさっぱりわがらない。ジイ様の話だと、百年前スペイン風邪が流行り、人がたくさん死んで、葬式があつた。恐ろしい病気だねー。コロナも早く終わるといいね。

お知らせ

「まちづくりアンケート」

◆総務企画部会で、保原小学校の児童と保護者の皆様を対象に実施させていただきました。ご協力有難うございました。◆その集計結果は、次号に掲載します。

「保原スクールコミュニケーション」

◆例年開催してきた「子ども祭り」に代わり開催します。募集については、回覧板にてお知らせいたしますので、奮ってご応募ください。

◆応募 川柳・イラストどちらか1点
◆題材 夢・家族・地域交流など
◆対象 保原小学校児童・学区の市民の方々・子ども祭り関係者。

◆方法 応募用紙は、①保原スクールコミュニケーション②保原中央交流館に設置。
◆作品(葉書サイズ)は、①②の施設に直接届けるか郵送。

◆問合せ 保原スクールコミュニケーション
電話 575-13025

あとがき 広報委員会

新メンバー二人(太字)を加え、読み易く親しまれる広報作りに努力します。宜しくお願いします。

齋藤徹雄、島田久也、齋藤一司
川崎理恵子、小川 新、菊池 研

問い合わせ先

保原中央自治振興会

住所

保原町宮下二二一四(保原中央交流館2F)

電話

〇二四一五六三一一三三 FAX 〇二四一五六三一一三七

メール

h-shinkoukai@aurora.ocn.ne.jp